

ISSN-L 2186-7046

# 宮城県保健環境センター一年報

平成 21 年度

ANNUAL REPORT  
OF  
MIYAGI PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT

No.28 2010

宮城県保健環境センター

## はじめに

このたび、保健環境センターの平成 21 年度における業績をとりまとめ年報第 28 号として発刊する運びとなりました。ご高覧の上、忌憚のないご意見を賜れば幸いと存じます。

当センターは、県民の方々の保健衛生や環境保全の維持向上のため、試験検査、調査研究、関係情報の収集・解析・提供及び技術研修などを行っております。平成 21 年度は新型インフルエンザ対策に関する調査研究、魚介類の残留農薬の一斉分析法や天然着色料の分析法の検討、有害大気汚染物質の影響調査や温泉排水の実態調査などに鋭意取り組んできたところです。

平成 21 年度は新型インフルエンザ（A/H1N1pdm）の世界的流行が起き、当センターでもその対応に追われることとなりました。受入から報告までの必要時間の短縮、検査に不可欠な人員・設備の確保、所内の感染事故防止対策などの危機管理能力が試され、また、その存在意義が問われた一年ではなかったかと思えます。幸い、迅速・正確・安全に新型インフルエンザを検査できる体制を整えることができ、検査機関としての役割を果たすことができました。

今後は新型インフルエンザ流行の第 2 波も予想され、さらには新しい感染症の発生が起こることも考えられることから、それらに備えた検査体制の充実・強化に努めてまいります。

当センターでは組織と業務の見直しを行い平成 21 年 4 月から従前の環境化学部と水環境部を統合して水環境部とする組織改編を行い、5 部体制となりました。

引き続き、県民の皆様方の理解が得られ、十分期待に応えられますよう、センターが担う試験検査・調査研究、健康危機管理体制の充実強化、県民ニーズや行政課題に密着した研究課題へ積極的に取り組んで参りたいと考えておりますので、更なるご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

平成 23 年 1 月

宮城県保健環境センター

所 長 茨 木 隆 雄

# 目 次

## A 事業概要

### I 総 説

1 沿 革	1
2 機構及び業務分担	1
3 職 員	2
4 決 算	3
5 主要機械器具	4
6 技 術 研 修	7
7 講 師 等 派	8
8 学術情報の収集	9

### II 概 況

1 企画総務部	11
2 微生物部	13
3 生活化学部	18
4 大気環境部	20
5 水環境部	24

## B 調査研究

### I 論 文

「新型インフルエンザ」発生からの検査の実際	27
佐藤 由紀 高橋 由理 阿部 美和 植木 洋 菅原 優子 沖村 容子 御代田 恭子	
カキを用いたサポウイルスの環境調査	30
植木 洋 高橋 由理 阿部 美和 佐藤 由紀 菅原 優子 沖村 容子 岡智 一郎 片山 和彦 野田 衛 真砂 佳史 大村 達夫	
Google マップを用いた「インフルエンザ様疾患による学校の措置状況地図」について	33
後藤 郁男 佐藤 由紀 沖村 容子 御代田 恭子	
生食用鮮魚介類等におけるヒスタミン産生菌に関する調査	36
宮崎 麻由 平本 都香 山口 友美 有田 富和 加藤 浩之 那須 務 渡邊 節 沖村 容子 御代田 恭子	
東北地方で発生した腸炎ビブリオ 03:K6 の PFGE 解析	39
有田 富和 宮崎 麻由 高橋 恵美 後藤 郁男 加藤 浩之 那須 務 小林 妙子 渡邊 節 沖村 容子 谷津 壽郎 御代田 恭子	
不良食品からの酵母様真菌類の分離と同定	42
有田 富和 宮崎 麻由 植木 洋 加藤 浩之 那須 務 渡邊 節 沖村 容子 御代田 恭子	
GC/MS/MS 及び LC/MS/MS による魚介類の残留農薬一斉分析	45
氏家 愛子 千葉 美子 大熊 紀子 吉田 直人 濱名 徹	
天然着色料の分析	50
千葉 美子 山口 友美 平本 都香 柳 茂 齋藤 善則 濱名 徹	
冬季降水の pH 変動に関する一考察	55
仁平 明 高橋 誠幸 中村 栄一 木戸 一博	

有害大気汚染物質発生源調査及び周辺環境調査	59
小川 武 佐久間 隆 小泉 俊一 小室 健一 北村 洋子 木戸 一博	
航空機騒音の $L_{AE}$ 算出方法及び $WECPNL$ と $L_{den}$ の関係について	64
菊地 英男 星川 大介 木戸 一博	
新しい「騒音の目安」調査について	68
菊地 英男 木戸 一博	
温泉排水中のほう素・ふっ素濃度実態調査結果	71
福地 信一 清野 茂 小山 孝昭 環境対策課, 各保健所環境公害担当職員	

## II 資 料

平成 21 年度に宮城県で発生した感染症	75
微生物部	
宮城県結核・感染症発生動向調査事業	77
微生物部	
感染症流行予測調査	81
微生物部	
平成 21 年度食品収去検査結果	86
微生物部	
平成 21 年度食中毒検査結果	87
微生物部	
平成 21 年度生活化学部検査結果	88
生活化学部	
アレルギー物質を含む食品の分析について	94
清野 陽子 山口 友美 濱名 徹	
高タンパク質食品における食用酸性タール色素の抽出法の検討	98
山口 友美 平本 都香 柳 茂 齋藤 善則 濱名 徹	
うなぎ中のマラカイトグリーン分析法の検討	101
大熊 紀子 氏家 愛子 千葉 美子 吉田 直人 濱名 徹	
平成 22 年 3 月 21 日の黄砂飛来による SPM 高濃度	103
仁平 明 高橋 誠幸 中村 栄一 木戸 一博	
大気中の揮発性有機化合物調査	109
佐久間 隆 小泉 俊一 北村 洋子 木戸 一博	
廃棄物分析情報迅速検索システムの構築について	111
秋野 正造 鍵谷 真男 小山 孝昭	
廃棄物に含まれる金属及び陰イオンについて	113
鍵谷 真男 佐々木ひとえ 藤原成明 小山孝昭	

III 調査研究課題一覧	115
--------------	-----

## C 研究発表状況

I 他誌論文抄録	117
II 学会発表等	119
III 研究発表会	123